



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月27日

上場会社名 株式会社トクヤマ 上場取引所 東  
 コード番号 4043 URL <https://www.tokuyama.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 横田 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 中野 哲也 (TEL) 03-5207-2552  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	84,017	24.5	5,108	△31.9	7,109	△10.1	4,482	△9.3
2022年3月期第1四半期	67,497	△4.4	7,496	12.7	7,904	18.4	4,941	△5.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 5,670百万円(20.0%) 2022年3月期第1四半期 4,724百万円(△26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	62.29	—
2022年3月期第1四半期	68.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	455,661	235,725	49.9	3,161.97
2022年3月期	433,210	232,917	51.8	3,120.25

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 227,507百万円 2022年3月期 224,506百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	22.5	24,500	△0.2	25,000	△3.3	17,500	△37.5	243.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	72,088,327株	2022年3月期	72,088,327株
2023年3月期1Q	137,090株	2022年3月期	136,954株
2023年3月期1Q	71,951,164株	2022年3月期1Q	71,985,131株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2023年3月期 第1四半期連結累計期間	84,017	5,108	7,109	4,482
2022年3月期 第1四半期連結累計期間	67,497	7,496	7,904	4,941
増減率	24.5%	△31.9%	△10.1%	△9.3%

**(売上高)**

石油化学製品、セメント及び半導体関連製品の販売価格が上昇したこと等により、前年同期より165億200万円増加し、840億1700万円（前年同期比24.5%増）となりました。

**(売上原価)**

原燃料コストの増加等により、前年同期より166億9600万円増加し、599億円（前年同期比38.6%増）となりました。

**(販売費及び一般管理費)**

物流費及び研究開発費の増加等により、前年同期より22億1100万円増加し、190億8000万円（前年同期比13.2%増）となりました。

**(営業利益)**

苛性ソーダの海外市況上昇等はあったものの、物流費及び原燃料コスト等の増加により、前年同期より23億8800万円減少し、51億8000万円（前年同期比31.9%減）となりました。

**(営業外損益・経常利益)**

営業外損益は、前年同期より15億9300万円改善しました。

以上の結果、経常利益は前年同期より7億9400万円減少し、71億9000万円（前年同期比10.1%減）となりました。

**(特別損益・税金等調整前四半期純利益・四半期純利益・親会社株主に帰属する四半期純利益)**

特別損益は、前年同期より1億2000万円改善しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は、前年同期より6億9200万円減少し、70億7000万円（前年同期比8.9%減）となりました。

応分の税金費用を加味した四半期純利益は、前年同期より5億3600万円減少し、44億5000万円（前年同期比10.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期より4億5900万円減少し、44億8200万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(セグメント別の状況)

売上高

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
<b>2023年3月期 第1四半期 連結累計期間</b>	<b>31,649</b>	<b>14,506</b>	<b>20,479</b>	<b>8,364</b>	<b>2,551</b>	<b>9,690</b>	<b>87,242</b>	<b>△3,224</b>	<b>84,017</b>
2022年3月期 第1四半期 連結累計期間	24,046	12,214	16,570	7,496	2,218	7,874	70,421	△2,923	67,497
増減率	31.6%	18.8%	23.6%	11.6%	15.0%	23.1%	23.9%	—	24.5%

営業利益又は営業損失(△)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
<b>2023年3月期 第1四半期 連結累計期間</b>	<b>4,252</b>	<b>△325</b>	<b>1,393</b>	<b>1,380</b>	<b>△182</b>	<b>522</b>	<b>7,041</b>	<b>△1,932</b>	<b>5,108</b>
2022年3月期 第1四半期 連結累計期間	4,068	562	2,132	1,134	△194	875	8,579	△1,082	7,496
増減率	4.5%	—%	△34.6%	21.7%	—%	△40.4%	△17.9%	—	△31.9%

(注) 各セグメントの売上高、営業利益又は営業損失(△)にはセグメント間取引を含めております。

(化成品セグメント)

苛性ソーダは、原燃料コストの増加はありましたが、輸出価格が上昇したことにより、増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、原燃料価格の上昇で製造コストが増加したこと等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は316億49百万円(前年同期比31.6%増)、営業利益は42億52百万円(前年同期比4.5%増)で増収増益となりました。

(セメントセグメント)

セメントは、出荷は前年同期並みであり、販売価格是正を進めたものの原料価格の上昇で製造コストが増加したことにより、損益が悪化しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は145億6百万円(前年同期比18.8%増)、営業損失は3億25百万円(前年同期は営業利益5億62百万円)となりました。

(電子材料セグメント)

半導体向けの多結晶シリコンは、5Gの普及やデータセンターの増設を背景に販売が堅調に推移しましたが、原燃料価格の上昇等による製造コストの増加により、減益となりました。

ICケミカルは、販売は堅調だったものの、原料価格の上昇等により、減益となりました。

乾式シリカは、原料コストの増加はありましたが、輸出価格が上昇したこと等により、増益となりました。

放熱材は、販売数量は堅調に推移したものの、先進技術事業化センターの研究開発費の増加等により、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は204億79百万円(前年同期比23.6%増)、営業利益は13億93百万円(前年同期比34.6%減)で増収減益となりました。

(ライフサイエンスセグメント)

歯科器材は、海外向けを中心に出荷が増加したことにより、増益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は83億64百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は13億80百万円（前年同期比21.7%増）で増収増益となりました。

(環境事業セグメント)

当セグメントでは、環境事業を将来の一つの柱とするために、グループ内に点在していた環境関連事業を集約し、新たな事業展開を目指していきます。

当セグメントの売上高は25億51百万円（前年同期比15.0%増）、営業損失は1億82百万円（前年同期は営業損失1億94百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は4,556億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ224億50百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が78億93百万円、原材料及び貯蔵品が61億19百万円、有形固定資産が32億76百万円、商品及び製品が30億15百万円、仕掛品が16億2百万円増加したことによるものです。

負債は2,199億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ196億42百万円増加しました。主な要因は、賞与引当金が18億67百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が157億40百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が27億35百万円、その他流動負債が21億90百万円増加したことによるものです。

純資産は2,357億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億8百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上げ等により利益剰余金が19億58百万円、為替換算調整勘定が19億68百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の事業環境については、原燃料価格の変動等不透明な部分はあるものの、現時点で業績は想定範囲内で推移しております。そのため、2022年4月28日に公表した業績予想を据え置きます。今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

本業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	83,116	91,010
受取手形	7,212	7,129
売掛金	70,989	70,756
リース債権	11	11
商品及び製品	19,194	22,209
仕掛品	14,264	15,866
原材料及び貯蔵品	22,265	28,385
その他	6,968	7,316
貸倒引当金	△72	△73
流動資産合計	223,950	242,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,926	111,063
減価償却累計額	△78,815	△79,373
建物及び構築物(純額)	30,111	31,690
機械装置及び運搬具	475,226	480,704
減価償却累計額	△424,410	△428,079
機械装置及び運搬具(純額)	50,815	52,625
工具、器具及び備品	23,356	24,046
減価償却累計額	△20,368	△20,675
工具、器具及び備品(純額)	2,987	3,370
土地	32,112	32,165
リース資産	8,682	8,969
減価償却累計額	△3,302	△3,579
リース資産(純額)	5,379	5,390
建設仮勘定	18,195	17,636
有形固定資産合計	139,602	142,878
無形固定資産		
のれん	68	63
リース資産	25	20
その他	2,588	2,768
無形固定資産合計	2,682	2,853
投資その他の資産		
投資有価証券	28,255	27,605
長期貸付金	2,094	2,095
繰延税金資産	21,111	21,675
退職給付に係る資産	10,482	10,965
その他	5,077	5,019
貸倒引当金	△46	△45
投資その他の資産合計	66,974	67,316
固定資産合計	209,259	213,048
資産合計	433,210	455,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,055	64,795
短期借入金	463	610
1年内返済予定の長期借入金	20,823	12,148
リース債務	1,225	1,195
未払法人税等	2,157	2,377
賞与引当金	3,462	1,594
修繕引当金	5,409	5,597
解体撤去引当金	908	599
製品保証引当金	73	31
損害賠償損失引当金	108	109
環境対策引当金	14	4
事業再構築引当金	47	—
その他	18,587	20,778
流動負債合計	102,337	109,841
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	67,951	79,362
リース債務	3,754	3,789
繰延税金負債	248	244
役員退職慰労引当金	194	178
株式給付引当金	33	45
修繕引当金	1,181	1,891
解体撤去引当金	874	874
製品補償損失引当金	88	80
環境対策引当金	118	118
退職給付に係る負債	2,081	2,066
資産除去債務	57	70
その他	6,370	6,371
固定負債合計	97,954	110,093
負債合計	200,292	219,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	23,453	23,451
利益剰余金	180,534	182,493
自己株式	△414	△413
株主資本合計	213,573	215,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,587	2,716
繰延ヘッジ損益	△8	△5
為替換算調整勘定	4,849	6,817
退職給付に係る調整累計額	2,505	2,448
その他の包括利益累計額合計	10,932	11,976
非支配株主持分	8,411	8,218
純資産合計	232,917	235,725
負債純資産合計	433,210	455,661

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	67,497	84,017
売上原価	43,203	59,900
売上総利益	24,293	24,116
販売費及び一般管理費		
販売費	10,745	11,981
一般管理費	6,051	7,026
販売費及び一般管理費合計	16,796	19,008
営業利益	7,496	5,108
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	281	356
持分法による投資利益	303	583
為替差益	74	1,210
業務受託料	156	481
その他	1,124	834
営業外収益合計	1,956	3,484
営業外費用		
支払利息	353	357
業務受託費用	146	402
総合福祉団体定期保険料	182	183
休止部門費	118	151
その他	749	387
営業外費用合計	1,549	1,483
経常利益	7,904	7,109
特別利益		
固定資産売却益	1	35
補助金収入	76	40
債務免除益	—	19
保険差益	—	1
特別利益合計	78	97
特別損失		
減損損失	—	8
災害による損失	31	3
固定資産圧縮損	67	26
固定資産処分損	120	97
特別損失合計	218	135
税金等調整前四半期純利益	7,763	7,070
法人税等	2,777	2,620
四半期純利益	4,986	4,450
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	44	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,941	4,482

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	4,986	4,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△584	△869
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	245	2,040
退職給付に係る調整額	7	△57
持分法適用会社に対する持分相当額	64	102
その他の包括利益合計	△261	1,220
四半期包括利益	4,724	5,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,685	5,526
非支配株主に係る四半期包括利益	39	144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益(損失)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税ならびに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	23,955	12,031	16,377	7,491	2,217	5,423	67,497	—	67,497
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	182	192	5	0	2,451	2,923	△2,923	—
計	24,046	12,214	16,570	7,496	2,218	7,874	70,421	△2,923	67,497
セグメント利益 又は損失 (△)	4,068	562	2,132	1,134	△194	875	8,579	△1,082	7,496

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品	セメント	電子材料	ライフ サイエンス	環境事業				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	31,574	14,270	20,346	8,361	2,534	6,930	84,017	—	84,017
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	75	235	133	3	16	2,760	3,224	△3,224	—
計	31,649	14,506	20,479	8,364	2,551	9,690	87,242	△3,224	84,017
セグメント利益 又は損失 (△)	4,252	△325	1,393	1,380	△182	522	7,041	△1,932	5,108

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外販売会社、運送業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究開発に係る費用及びセグメント間取引消去額等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は、その他の収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益とその他の収益に区分して表示していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。